

第 705 回 日本小児科学会東京都地方会講話会 プログラム

日 時： 2025年3月8日(土) 午後2時00分

開催会場： アットビジネスセンター八重洲 501号室

* 2024年度より会場開催のみとなります。

* 講話会プログラムの郵送はいたしませんので、各自ダウンロードいただきますようお願いいたします。

参加費	教育講演受講単位及び 学術集会参加単位について	備 考
1,000 円	専門医共通講習（感染対策） 1 単位（ii 貼付用） 学術集会参加単位（iv -B 貼付用）	* 単位を取得するためには教育講演 全ての聴講が必要（60 分）



【会場アクセス】

■ JR 東京駅（八重洲口）より徒歩約 10 分

■ 日比谷線 八丁堀駅より徒歩 2 分

※日比谷線八丁堀駅（A5 出口）

アットビジネスセンター八重洲 501 号室

東京都中央区八丁堀 1-9-8 八重洲通ハタビル 5・6 階

※建物の外観：ガラスカーテンウォール

※看板表記：ABC conference room

【東京都地方会】

会 長：水野 克己（昭和大学医学部小児科主任教授）

主幹校：昭和大学医学部小児科 担当：阿部 祥英

連絡先：jpestokyo-office@umin.ac.jp

※講話会中の緊急のご連絡は会場 03-6627-2151 まで

東京都地方会 HP：<https://jpeds-tokyo.com/>



第 705 回日本小児科学会東京都地方会講話会プログラム

(1 題 6 分、指定発言 5 分、追加討論 3 分以内厳守のこと)

《プログラム係 順天堂大学 東海林 宏道》

一般演題 (1) 14:00 - 14:50 座長 若月 寿子 (山王病院 小児科)

1) 尿閉を契機に急性散在性脳脊髄炎の診断に至った 1 例

○松岡 峻也、五十嵐 鮎子、田畑 恭輔、野村 望、日比生 武蔵、柏木 項介、宮野 洋希、
宮田 恵理、鈴木 恭子、大友 義之

(順天堂大学医学部附属練馬病院 小児科)

13 歳男子。COVID-19 発症 20 日後から尿閉・便秘があり、26 日後に筋力低下を認め、当院へ救急搬送された。MRI T2 強調像で大脳基底核と頸髄から腰髄にかけて広範囲に高信号域を認め、急性散在性脳脊髄炎 (ADEM) と診断した。ステロイドパルス、大量免疫グロブリン療法で症状が改善し退院した。ADEM は膀胱直腸障害が初期症状になることもあり、感冒後に神経学的異常所見が出現した際は本疾患の鑑別を要する。

2) 関節症状が先行し術前心電図を契機に診断された萎縮性甲状腺炎の 1 例

○河合 真央子¹⁾、永松 優一²⁾、古川 晋²⁾、長原 慧²⁾、阿久津 裕子²⁾、大槻 彩子²⁾、
山口 洋平²⁾、石井 卓²⁾、高澤 啓²⁾、鹿島田 健一²⁾、高木 正稔²⁾

(¹⁾ 東京科学大学病院 総合教育研修センター、²⁾ 同 小児科)

13 歳女子。左手関節痛に対する滑膜切除術が予定されたが、術前の心電図で低電位を認め、心エコーで軽度の大動脈弁逆流と心嚢水貯留を指摘され当院を受診した。TSH 414 μ IU/mL、FT3、FT4 感度未満、抗 TPO 抗体、抗サイログロブリン抗体陽性であり、萎縮性甲状腺炎と診断した。甲状腺ホルモン補充後、関節症状、心電図・心エコー所見は改善した。甲状腺疾患では多彩な症状をきたすことを念頭に置く必要がある。

3) 冠動脈瘻治療後遠隔期に心房頻拍を合併した 1 例

○宮本 のぞみ、赤塚 祐介、木村 寛太郎、高橋 誉弘、佐藤 浩之、西山 樹、加護 祐久、
原田 真菜、福永 英生、東海林 宏道

(順天堂大学医学部附属順天堂医院 小児科・思春期科)

13 歳男子。1 歳時に心房中隔欠損閉鎖術、冠動脈瘻閉鎖術を施行し、11 歳時に冠動脈瘻の残存瘤に対するコイル塞栓術を施行した。13 歳から動悸が出現し、Holter 心電図で上室頻拍が捕捉された。心臓電気生理学検査で下大静脈 - 三尖弁輪間峡部を遅延伝導領域とする心房頻拍と診断し、心筋焼灼術を施行した。心房負荷を生じる疾患群では、若年でも心房性不整脈を合併することがあり、文献的考察を含めて報告する。

4) 肺炎球菌結合型ワクチン非含有血清型 38 による侵襲性肺炎球菌感染症の 1 例

○加藤 憲一¹⁾、高坂 和椰²⁾、立野 茉咲子²⁾、滝鼻 理那¹⁾、金澤 建¹⁾、松橋 一彦¹⁾、阿部 祥英¹⁾
(¹⁾ 昭和大学江東豊洲病院 こどもセンター、²⁾ 昭和大学医学部小児科学講座)

8 歳女兒。生来健康で肺炎球菌ワクチンは 4 回接種されていた。発熱 3 日目に受診し、扁桃腫大を認めた。溶連菌抗原検査は陰性だったが、炎症反応 (CRP 7.88 mg/dL) を認め、セフジトレンが処方された。翌日、血液培養陽性が判明し、入院した。ワクチン非含有血清型 38 の肺炎球菌が分離され、侵襲性肺炎球菌感染症 (IPD) の診断でアンピシリンが 10 日間投与された。ワクチン既接種でも IPD 発症に注意を要する。

5) 下腿打撲後血腫との鑑別が困難であった壊死性筋膜炎の学童の1例

○児玉 ありす¹⁾、水野 雄太¹⁾、白神 一博¹⁾、河島 裕樹¹⁾、土居 秀基¹⁾、西木 拓己¹⁾、渡辺 恵子¹⁾、小澤 由衣¹⁾、榊 真一郎¹⁾、益田 瞳¹⁾、松井 彦郎¹⁾、犬塚 亮¹⁾、山下 耕平²⁾、松本 慎也²⁾、北浦 慧³⁾、堤 武也^{2,3)}、加藤 元博¹⁾

(¹⁾ 東京大学医学部附属病院 小児科、²⁾ 同 感染症内科、³⁾ 同 感染症制御部)

9歳女児。22q11.2欠失症候群に伴う肺動脈閉鎖症術後のため抗血小板薬および抗凝固薬を内服中だった。下腿打撲後に同部位の腫脹、疼痛および発熱を認め、近医にて血腫の診断で経過観察された。3日後に全身の発疹と意識障害を認めて当院を受診し、頰脈、血圧低下を認め、緊急試験切開で筋膜壊死を認めた。咽頭および創部滲出液の迅速検査によりA群溶血性レンサ球菌による壊死性筋膜炎と診断し、迅速な対応で救命できた。

一般演題 (2) 14:50 - 15:35 座長 新井 喜康 (順天堂大学医学部附属順天堂医院 小児科・思春期科)

6) 尿中CMV核酸検出により早期診断した先天性CMV感染症の超早産・超低出生体重児の1例

○小林 眞依子、太田 昌志、森澤 和美、玉岡 哲、古市 宗弘、原 香織、有光 威志、新庄 正宜、飛彈 麻里子、鳴海 覚志

(慶應義塾大学医学部小児科学教室)

日齢31女児。在胎26週5日、出生体重811g。血小板低下と肝酵素上昇を伴い、新生児呼吸窮迫症候群とその後の呼吸状態の増悪で人工呼吸器管理を要した。日齢31、日齢19に実施した尿中CMV核酸検査の陽性が判明し、バルガンシクロビルの内服を開始した。超早産・超低出生体重児のCMV感染症は致死的なこともあり、その徴候がある児では生後21日以内に尿中CMV核酸検査を実施し、早期診断と治療に繋ぐ必要がある。

7) 超音波検査で診断しえた早期新生児期発症の精巣捻転症

○三瓶 みずほ、奈良 昇乃助、中山 俊宏、山田 舞、川崎 健太、代田 朋子、羽生 直史、西袋 麻里亜、西端 みどり、山崎 崇志、山中 岳

(東京医科大学病院 小児科・思春期科)

日齢5男児。日齢1から両側陰嚢水腫を認め、日齢5に左陰嚢の暗赤色への色調変化と硬結を触知した。陰嚢超音波検査で左精巣の血流消失と精巣内の低エコー域を認め左精巣捻転症と診断し、同日緊急手術(左精巣摘出と右精巣固定術)を施行した。新生児精巣捻転症は臨床症状に乏しい場合も多く、対側精巣に異時発症するリスクがある。対側精巣の早期固定が妊孕性の温存に重要であり、超音波検査による迅速診断が有効である。

○指定発言 藤原 憲太郎 (東京医科大学病院 消化器外科・小児外科)

8) 続発性偽性低アルドステロン症を呈した上部尿路感染症の乳児例

○石川 理子¹⁾、金澤 建²⁾、唐渡 諒²⁾、阿部 祥英²⁾

(¹⁾ 東邦大学医学部 (5年生)、²⁾ 昭和大学江東豊洲病院 こどもセンター)

4か月乳児。尿路感染症(UTI)と左水腎症4度の既往がある。発熱を主訴に前医を受診し、UTI再発の疑いで紹介された。血液検査でNa低値、アルドステロン(Ald)とレニン活性の高値を認め、続発性偽性低Ald症を呈した。尿からセラチア菌が分離され、輸液と抗菌薬投与後、検査値の異常は改善した。膀胱尿管逆流現象はなく、水腎症は1度に改善しており、UTIによって一過性にAld不応に至った背景を考察する。

9) 生来健康な児の血塊による膀胱タンポナーデ

○星野 湘子¹⁾、内田 佳子²⁾、嶋 ろひ²⁾、植松 悟子²⁾、成田 ちさと³⁾、長谷川 雄一³⁾、
宮坂 実木子⁴⁾、石黒 精¹⁾

(¹⁾ 国立成育医療研究センター 教育研修センター、²⁾ 同 救急診療部、³⁾ 同 泌尿器科、⁴⁾ 同 放射線診断科)
13歳男子。既往歴や外傷歴に特記事項はない。疼痛を伴わない肉眼的血尿と尿閉のため受診した。尿検査では赤血球の変形はなく、超音波検査では膀胱内に3cm大の凝血塊を疑う所見を認め膀胱タンポナーデと診断した。膀胱洗浄を行なったが血塊は除去できず、全身麻酔下で除去した。膀胱鏡では膀胱粘膜の異常や腫瘍性病変は認めなかった。基礎疾患のない小児の膀胱タンポナーデはまれであり経過と特徴的な超音波画像を報告する。

* * 休 憩 15:35 - 15:45 * *

感染症だより 15:45 - 16:00 (講演: 15分)

講師 高梨 さやか (国立感染症研究所 感染症疫学センター)

共催セミナー 16:00 - 16:40 (講演: 40分)

[Small-for-gestational age 児の成長と糖代謝異常に関する基礎・臨床研究]

座長 内木 康博 (国立成育医療研究センター 内分泌・代謝科)

講師 長野 伸彦 (日本大学医学部小児科学系小児科学分野)

胎児期の低栄養状態の代表である Small-for-gestational age (SGA) 児は、一般に Barker 学説にあてはまると考えられている。しかし、早産 SGA 児を診療していると異なる印象を持つ。早産 SGA 児は、3歳までの早期 adiposity rebound 出現の頻度が、正期産 SGA 児より少なく、6歳までの Body mass index が低値で推移する。つまり早産 SGA 児と正期産 SGA 児の表現型には違いがあり、早産 SGA 児は著明な肥満にならずとも将来的に糖尿病を発症するリスクがある。本講演では、早産 SGA 児の成長と糖代謝異常の特徴について概説する。

共催: JCR ファーマ株式会社

* * 休 憩 16:40 - 16:50 * *

「腎移植と感染症」

座長 幡谷 浩史 (都立小児総合医療センター 総合診療部)

講師 濱崎 祐子 (東邦大学医学部腎臓学講座)

腎移植後は、拒絶反応を防ぐために免疫抑制薬の継続的な内服が必要であり、免疫抑制状態となる。サイトメガロウイルス、EBウイルス、BKウイルス、アデノウイルスなど、移植後に特有なウイルス感染だけでなく、市中感染に関してもワクチンなどによる予防が必要である。また罹患時には、年齢にかかわらず重症化する可能性があるため、早期に対応することが望まれる。

◆ 2025年度講話会及び年間行事予定 ◆

■ 講話会予定

講話会	日程	会場	備考
第706回	2025年6月14日(土)	アットビジネスセンター八重洲通 (会場開催のみ)	※演題締切 2025年4月20日
第707回	2025年7月12日(土)		※演題締切 2025年5月20日
第708回	2025年9月13日(土)		※演題締切 2025年6月20日
第709回	2025年10月11日(土)		※演題締切 2025年8月20日
第710回	2025年12月13日(土)		※演題締切 2025年9月20日
第711回	2026年1月10日(土)		※演題締切 2025年11月20日
第712回	2026年2月14日(土)		※演題締切 2025年12月20日
第713回	2026年3月14日(土)		※演題締切 2026年1月20日

* 4, 5, 8, 11月は休会

演題募集中!

登録方法などは詳しくは東京都地方会ホームページをご確認ください。

【東京都地方会 HP】 <https://jpedstokyo.com/>



■ 小児診療初期対応（JPLS）開催予定

日本小児科学会と東京都地方会の共催で小児診療初期対応（Japan Pediatric Life Support : JPLS）を年間3回開催されることが予定されています。

取得単位：小児科専門医（新制度）更新単位 iii小児科領域講習3単位

開催日程	会場	申込開始時期
2025年12月7日（日）	日本大学	※参加申込は各コース 4か月前より
2026年2月7日（土）	国立成育医療研究センター	
2026年2月8日（日）	国立成育医療研究センター	

申し込み先：日本小児科学会 HP

https://www.jpeds.or.jp/modules/activity/index.php?content_id=221

■ 第50回東日本小児科学会のご案内

会長：昭和医科大学医学部小児科学講座小児内科学部門 教授 水野 克己

大会テーマ：こどもたちの笑顔あふれる社会を目指して

日程：令和7年11月23日（日・祝）

会場：一般財団法人全電通労働会館（ハイブリッド開催）

URL：準備中

◆ 会員の皆様へ事務局より重要なお知らせ ◆

【2025年会費納入について】

2024年度より年会費が8,000円となっております。

年会費納入のお知らせを2025年4月1日以降、メールおよびホームページにてご案内いたします。

2024年度会費未納の方は2025年3月末日までに【会員マイページ】より納入手続きいただきますようお願いいたします。

3年間未納の場合、自動退会となりますのでご注意ください。

*会員登録事項変更等についてもマイページより各自お手続きをお願いいたします。

【年会費免除申請について】

学部学生（大学院生は除く）および、初期臨床研修医は年会費および講話会会場費は免除とします。学部学生は学生証、初期臨床研修医は職員証（写）と年会費免除申請書（東京都地方会ホームページよりダウンロード可）を事務局に申請してください。

【東京都地方会名誉会員のご推薦について】

東京都地方会では名誉会員の推薦を随時募集しています。詳しくは東京都地方会ホームページにてご確認をお願いいたします。

ご不明な点がございましたら運営事務局までご連絡をお願いいたします。

【主幹校（会長校）】昭和大学医学部小児科

【運営事務局】日本大学医学部小児科

【主幹校／運営事務局 共通アドレス】

✉ jpstokyo-office@umin.ac.jp

【東京都地方会 HP】

<https://jpeds-tokyo.com/>



